



自由民主党 海沼秀幸 6
西武安比奈線鉄道敷道路化

問地元からの要望や川越増形地区産業団地整備などを踏まえて、大東地区の道路に対する今後の市の考え方について伺う。

答建設部長 大東地区の道路については、川越増形地区産業団地の開発に伴う交通協議によると、関係する車両の増加は限定的と想定されているが、幹線道路のさらなる渋滞と生活道路への車両の流

入が考えられる。そうしたことから、地元からの鉄道敷の活用による道路整備の意見も踏まえ、産業団地の整備に伴う交通への影響が最小限となり、地域の利便性の向上が図られる交通対策について、関係部署および関係機関と連携して調査研究していきたいと考えている。

問庁舎セキュリティ対策
答大東地域の交通対策



公明党 中村文明 7
特別支援教育の充実を

問新年度の教育行政方針にもあつたが、全校設置を含めた、特別支援教育の充実に向けて、教育的ニーズにどのように応えるのか。

答教育長 本市では、新設特別支援学級設置計画を作成し、毎年見直しながら、全校設置を目指している。特別支援教育の充実に向けて、専門性の高い教

員を配置し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びの場を提供していくこと、教職員の特別支援教育へのさらなる理解や指導力の向上を図ること、さらに、特別支援教育支援員の増員や活用についての工夫改善等を通し、適切に支援できるようにすること

などに取り組んでいく。**問**学校教育の諸課題



公明党 桐野忠 8
避難所での課題と改善策

問今回の質問で、避難所では、暑さ対策・電源確保等の多くの課題があると認識したが、市としての改善策をどう考えるか伺いたい。

答栗原副市長 近年、全国各地で発生した災害による避難所運営においても、設備面、運営面等でさまざまな課題が指摘されている。本市としても、暑さ対

策や電源対策など避難所における生活環境の確保に努めるとともに、国のガイドラインや、被災地等での課題や対策事例を参考に、避難所運営マニュアルの改訂を行う他、市民との協働の訓練を実施するなど、有効な対策を講じていきたいと考えている。

問防災対策



立憲・国民 片野広隆 9
文化芸術分野で頑張る子へ

問スポーツ分野で活躍している子ども達への表彰と同様に、文化芸術分野で頑張っている子ども達を川越市として表彰する機会を創設してはどうか。

答文化スポーツ部長 本市の児童生徒が日々努力し、全国レベルの大会に参加することは、本市にとっても喜ばしく、また、盛り上げていくべきであると考えている。文化芸

術関連で活躍し、優秀な成績を収めた子どもたちについては、表彰される機会が少ないことから、文化芸術で活躍した子どもたちの表彰などの実施について、今後、前向きに検討していきたい。

問活躍する子達への支援



政晴会 明ヶ戸亮太 10
ポリテックの実装に向けて

問テクノロジの活用はさまざまな政治分野において質の向上や効率化が期待されるが、本市のテクノロジ導入に対する考えを伺う。

答総合政策部長 少子高齢化の進展により、ヒトやモノが減少していく社会構造において、これらをテクノロジが代替していくことは必然であり、ビッグデータやAIなど

のテクノロジを導入していくことも必要なことであると考えている。導入に当たっての課題は、人材確保、機器や通信網の整備、財政的な課題、セキュリティ対策などが考えられる。国や他団体の動向を注視するとともに、導入に向けた調査、研究を進めていきたい。

問ポリテック



政晴会 樋口直喜 11
将来の川越を見据えて

問市制施行100周年以降のまちづくりの方向性も定める次期の計画策定には、若い世代の視点も取り入れ、参画につなげていくべきではないか。

答市長 現在、全国的に人口減少と超高齢社会の到来という大きな課題に直面しており、団塊の世代が後期高齢者となる、2025年問題への対応を具体的に意識してい

なければならぬ。そのため、高齢者施策の検討と併せ、魅力的なまちづくりを進める上で、若者の視点も欠くことのできないものと認識する。今後の計画策定に当たり、若い世代の視点も重視し、これを取り入れる工夫により、まちづくりへの積極的な参画につなげていきたいと考える。

問今後のまちづくり